

WG1の今後の取組について

引き続き以下の取組みを進める。

○ 「外国人等に配慮した非常用放送設備の音声警報メッセージ」について

- ・ 外国人でも理解できる「やさしい日本語」によるメッセージ文例の理解度について検討※する。
- ・ 複数の言語で放送する場合における、メッセージの繰り返し時間の上限について検討※する。

○ 「デジタルサイネージ活用指針(案)」について

- ・ 放送種別(「感知器発報放送」、「火災放送」、「非火災報放送」)ごとに切り替える表示コンテンツの背景色について検討※する。
- ・ 複数の言語を併記する際に、それぞれ言語ごとに上下にまとめて表示する場合と交互に表示する場合とで、どちらの視認性が高いかについて検討※する。
- ・ 火災時においてもデジタルサイネージを作動させるための方策について、関係団体等からヒアリングを行い、デジタルサイネージに適した有効な措置等を検討する。

○ 「消火器のピクトグラムを活用した情報伝達」について

- ・ 消防本部や関係団体と調整し、その結果を反映させる。

※ 検討にあたっては、訓練(10月~12月)等を活用し、参加者へのアンケート等を行う。